

(様式1)

# 横浜市文化芸術活動応援プログラム申請書

日付は必ず5月28日以降

令和 2年 5月 28日

1	申請区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法人 <input type="checkbox"/> 個人事業主	←法人または個人事業主である必要があります。								
	フリガナ	カブシキガイシャ ○○○○									
	名称	株式会社 横浜○○○○ミュージック									
	代表者 役職・氏名	代表取締役 ○○ ○○									
	所在地	〒	○○○	—	○○○○						
		横浜市西区○○○○									
電話番号	045	—	○○○	—	○○○○	FAX番号	045	—	○○○	—	○○○○
E-mail	○○○		@	○○○○							
担当者氏名	事務員 ○○ ○○										
2	所在地	〒	○○○	—	○○○○						
		横浜市○○区○○○○									
	施設名	ライブハウス ○○○○									
	電話番号	045	—	○○○	—	○○○○					
利用形態	<input type="checkbox"/> 所有 <input checked="" type="checkbox"/> 賃貸 <input type="checkbox"/> 施設利用(年間利用日数____日)※年間90日以上の利用を条件とします										
注1 市内に複数の活動拠点がある場合は、主たる活動拠点を記入してください。											
3	【該当する分野にレ点をつけてください】										
	<input checked="" type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 演劇 <input type="checkbox"/> 映像・写真 <input type="checkbox"/> 舞踊 <input type="checkbox"/> 美術 <input type="checkbox"/> 伝統芸能 <input type="checkbox"/> 茶華書道 <input type="checkbox"/> 公演・展示・上映等の企画、制作・運営に関わる事業者・施設運営者 <input type="checkbox"/> その他										
活動分野	【具体的な活動内容をご記入ください】										
	○○区○○の商業施設の一角を借り、1998年からライブハウス□□□を経営を続けてきた。持ち込み企画を含め、週に平均3～4ステージを開催するとともに、貸ホール・スタジオとしての利用も受け入れている。										
4	前期収入額	3,000				万円	収入にしめる文化芸術事業の占める割合				
	うち文化芸術事業による収入額 注2	2,400				万円	80.0%				
注2 「文化芸術事業による収入額」の根拠となる証憑書類は事務局の求めに応じてご提出いただきます。申請時のご提出は不要ですが、お手元にご準備をお願いいたします。											
5	【新型コロナウイルス感染症による事業への影響についてご記入ください】 注3										
	注3 コロナの影響による収入減や損失増の状況についてはこの欄にご記載ください。										
事業への影響	【記載例】 ○/○より、自身が経営する客席100席のライブハウスが営業自粛を続けており、休業はしているものの現在事業は継続中。この間、主催イベント中止○件、貸館中止○件。1回あたり平均○○○円×○○人＝○○万円の損失が生じており、グッズを作成し、ネット販売などで収入を得ているが、昨年同時期の売上○○○円に対し、今年は○○○円で○%の減。賃貸料や水光熱費、スタッフ人件費など月○○万が必要であり、県の休業協力金の申請も行っている。										



7 活動計画【令和2年5月15日～12月31日までの活動計画を記入ください】

活動計画の趣旨・目的

■ライブハウス〇〇〇〇は、長年、地元を根を張り、横浜で若い才能を育て、音楽文化を発信してきた。今や全国的に有名になったギタリスト横浜太郎なども、アマチュア時代から当ライブハウスのステージに立ってきた一人である。現在、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に伴う開館自粛により、若いアーティストの活動の場や、ライブハウスを支える舞台スタッフたちの仕事、そしてファンの鑑賞機会が失われている。かなり厳しい状況であるが、アーティストやスタッフ、観客の皆さんのため、そして何より音楽のために、ライブハウス〇〇〇〇は活動を続けていきたい。

■再開できる時がきたら、ライブハウス〇〇〇〇として少しずつ活動をはじめていきたい。すぐに普段どおりに戻して活動できるとも限らないので、感染拡大防止の安全対策などを施し、実際の公演とオンライン配信を組み合わせるなどして、実施したい。キャパシティにあわせてチケットを100%売ることができないかもしれないし、マスクなどの備品をそろえたり、スタッフに新しい運営方法を指導したり、収入が減るのに新しい支出は増える。再開までに家賃も払わないといけない。そのため、この給付金を活用したい。

具体的な活動内容

年月日 (実施期間)	実施場所	活動内容
2020年10月 中旬予定	ライブハウス 〇〇〇〇	「ライブハウス〇〇〇〇 ▲▲スペシャル 2days Live」 ・横浜太郎、野毛みなど、伊勢佐木わかば、など、ライブハウス〇〇〇〇に縁のあるアーティストをブッキングして、2日間のスペシャルライブを企画。1日3組出演予定。 ・観客数見込 @30人×2日間（人の距離を取るためにキャパを30%にする） ・オンライン配信も同時に行う（課金制でライブ視聴を想定） ・グッズや飲食販売あり ・観客にはマスク着用を依頼するなど、感染拡大防止策を実施する。

8 収支予算【7活動計画を踏まえた収支予算を記入ください】

○支出項目

項目	項目詳細	金額 (円)	備考 (数量・単価などの積算根拠、支援金を充てる金額など)
出演料、講師謝金	出演料	420,000	(出演料@70,000×3組)×2日 (楽器運搬費、交通費等込み)
企画料			
調査費 (宿泊・交通費含)			
作品作成に係る 資材費・機材費	ライブ配信機器	60,000	オンライン配信用のデバイス (機材名●●●●) を新たに購入
会場使用料	会場利用	80,000	年間家賃3,600,000÷365日×4日で計算 (リハ2日間、本番2日間)
印刷費			
通信費・郵送費			
保険料	イベント保険	10,000	5,000×2日分
著作権費	音楽著作権料	5,000	JASRAC支払い分
当日運営費	臨時スタッフ	40,000	10,000円×2名×2日間
機材搬入費			
事務所スタッフ 人件費	照明、音響、受付	140,000	運営スタッフ2名×10,000×2日 オペレーター (照明、音響) 2名×15,000×4日
拠点賃料 (住居を除く)			今回は、月額賃料としてではなく上記の会場使用料に入れた。
広告費	WEB広告出稿	20,000	Instagram等の広告代
出演者アテンド	ケータリング	15,000	弁当代、ケータリング代など
合計		790,000	

対象となる可能性がある項目はこちらに足せます。

対象経費以外の支出項目はここに記載してください。

○収入項目

項目	金額 (円)	積算根拠
横浜市文化芸術活動 応援プログラム支援金	300,000	上限は30万円までです。
チケット・ドリンク 物販	330,000	(チケット4,000+ドリンク500)×30人×2日、物販20,000 追加ドリンク40,000
その他収入	160,000	オンラインチケット(1,000×80)×2日間
合計	790,000	

収支の合計は  
一致させてく  
ださい。

## 振込口座指定書

(フリガナ)	カ)ヨコハマ ○○○○ ミュージック ダイヒョウトリシマリヤク ○○○○	
口座名義	(株)横浜○○○○ミュージック 代表取締役 ○○○○	
注)申請者名と同一名義の口座名義に限ります。		
振込先	<input checked="" type="checkbox"/> 銀行 <input type="checkbox"/> 金庫 <input type="checkbox"/> 信用組合 <input type="checkbox"/> 労働金庫 <input type="checkbox"/> 農協	<input type="checkbox"/> 本店 <input checked="" type="checkbox"/> 支店 <input type="checkbox"/> 出張所
	金融機関コード(注1)	店番号(注2)
	9999	999
	種目	口座番号
普通	9999999	

(注1)

指定する銀行等の金融機関コード(4桁の数字。)を記入してください。

<https://zengin.ajtw.net/> (金融機関コードは左記URLなどで検索できます。リンクは貼っていません。)

(注2)

指定する支店の支店番号(上記URL等で検索できます。また通帳・カード等に記載されています。)の数字を記入してください。

ゆうちょ銀行の場合は、以下にご記入ください。

どちらかを  
ご記入  
ください

【店名】  【店番】  【預金種目】  【口座番号】

→ 通帳の表紙を開き、下のページに「この口座を他金融機関からの振込の受取口座として利用される際は次の内容をご指定ください」と書かれている場合は、その番号などをここに記載してください。

記号  番号

→ 上記の【店名】や【店番】が不明な方は、通帳の表紙を開いた上のページ、またはキャッシュカードに記載されている記号と番号をご記入ください。

(フリガナ)	
口座名義	
注)申請者名と同一名義の口座名義に限ります。	

## 誓約書

各項目の内容をご確認の上、チェック欄の口に✓を入れてください。

チェック欄	項目
<input checked="" type="checkbox"/>	<p>申請者は①から③の要件をすべて満たしており、申請書の記載内容及びその他提出書類に記載した情報に虚偽はありません。</p> <p>①横浜市内在住又は市内に活動拠点を置く、文化芸術分野における活動を生業とした法人又は個人事業主です。</p> <p>②不特定多数の者を対象とした公演・展示・上映等に関わる活動に対して過去1年以内に対価を得た実績があり、今後も活動を継続する意思があります。</p> <p>③新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴い、活動や表現の機会が減少している等、影響を受けています。</p>
<input checked="" type="checkbox"/>	<p>事業が終了したら事業報告を必ず行います。対象経費が支援金を下回った場合には、当該差額を返還します。</p>
<input checked="" type="checkbox"/>	<p>破産法(平成16年法律第75号)第18条または第19条に基づく破産手続き開始の申立てがなされていません。</p>
<input checked="" type="checkbox"/>	<p>申請した事業に対して横浜市による他の助成金の交付を受けていません。</p>
<input checked="" type="checkbox"/>	<p>現在、市税、及び横浜市に対する債務の支払い等の滞納はありません。</p>
<input checked="" type="checkbox"/>	<p>当該給付に関し、同一人又は同一法人による重複申請を行っていません。</p>
<input checked="" type="checkbox"/>	<p>次に掲げる者のいずれにも該当しません。</p> <p>横浜市暴力団排除条例(平成23年12月横浜市条例第51号)第2条第2号に規定する暴力団、同条例第4号に規定する暴力団員等、同条例第5号に規定する暴力団経営支配法人等、同条例第7条に規定する暴力団員等と密接な関係を有すると認められる者(法人その他の団体にあつては、その役員(業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者をいう。))が暴力団員等と密接な関係を有すると認められるものをいう。)、神奈川県暴力団排除条例(平成22年神奈川県条例第75号)第23条第1項又は第2項に違反している事実がある者</p>
<input checked="" type="checkbox"/>	<p>政治的もしくは宗教的普及宣伝と認められる活動、又は公序良俗に反する恐れがある活動ではありません。</p>
<input checked="" type="checkbox"/>	<p>事務局及び横浜市長が行う関係資料の提出指導、事情聴取及び立入検査等の調査に応じます。</p>
<input checked="" type="checkbox"/>	<p>申請内容に故意による虚偽があるなど不正が発覚した場合には、横浜市からの請求に基づき給付金を返還します。</p>

# 提出書類チェックシート

申請書や添付資料に不備がある場合には、要件を満たしていない申請と判断し、支援金の給付の対象外となります。  
必ず提出書類チェックシートで確認してから、ご提出ください。

チェック欄	チェック項目
<input checked="" type="checkbox"/>	「1 申請書」のシートについて 「1 申請書」から「5 事業への影響」までの5項目について、すべての項目を記入している。(ただし、「2 活動拠点」は、法人であれば法人の所在地、個人事業主であれば個人事業主住所と同一であれば記入不要。)
<input checked="" type="checkbox"/>	「2 活動実績」のシートについて 「6 活動実績」の表に、不特定多数の者を対象とした公演・展示・上映等に関わる活動に対して過去1年以内に対価を得た実績について、年月日(実施期間)、会場、具体的内容を記入している。
<input checked="" type="checkbox"/>	「3 活動計画」のシートについて 「7 活動計画」の表に、令和2年5月15日から令和2年12月31日まで期間内の活動計画について、年月日(実施期間)、会場、具体的な内容を記入している。
<input checked="" type="checkbox"/>	「4 収支計画」のシートについて 「8 収支予算」の「収入項目」「支出項目」それぞれの表に、「7 活動計画」に基づく項目、項目詳細、金額、積算根拠を記入している。
<input checked="" type="checkbox"/>	「4 収支計画」のシートについて 「8 収支予算」の「支出項目」の合計金額と「収入項目」の合計金額が一致している。
<input checked="" type="checkbox"/>	「5 振込口座指定書」のシートについて 「9 振込口座指定書(請求書)」について、申請者と口座名義人が一致している。また口座名義人及びフリガナ、銀行又は信用金庫名、本店又は支店名、金融機関コード、支店番号(支店コード)、種目(当座又は普通)、口座番号のすべてを記入している。
<input checked="" type="checkbox"/>	「6 誓約書」のシートについて 「10 誓約書」について、チェック欄にチェックをしている(☑)。 一つでもチェックできない項目がある場合は、申請を受け付けられません。

次の必要書類をすべて添付している

【法人・個人事業主ともに】

振込口座のわかる書類(通帳の写し等。振込口座は申請者本人のものに限ります)

【法人の場合】

定款の写し

前期決算書

役員名簿

【個人事業主の場合】

本人確認書類(運転免許証やパスポート等)の写し

2019年の確定申告書の控

【法人・個人問わず】活動にかかわるスタジオ等の利用料を対象経費として申請する場合

利用料・賃借料がわかる書類  
(料金表など。賃借契約を締結している場合は、契約書の写しと同居でないことを証明できる書類の写し)